



北部方面隊における防災 対策等の対応及び取組み



2019年5月30日
北部方面総監部

北部方面隊における防災対策等の対応及び取組み

1 2018年度における防災への取組み

(1) 災害派遣実績

ア 北海道胆振東部地震における自衛隊の対応・成果

イ 北部方面隊の道内災害派遣実績

(2) 防災訓練成果

2 2019年度における防災訓練への取組み

北海道胆振東部地震における自衛隊の対応

道内全般

自衛隊は人命救助46名、給水支援約1,200t、給食支援約167,000食、入浴支援約24,000名、9月6日から10月14日までの約一ヶ月半に延べ人数200,000人、延べ航空機550機、延べ艦艇90隻の規模で活動を実施

人命救助：厚真町吉野地区（1特団）



物資輸送（海上自衛隊）



排水路の倒木除去作業（11普連）



人員輸送（航空自衛隊）



道庁等と自衛隊の連携要領

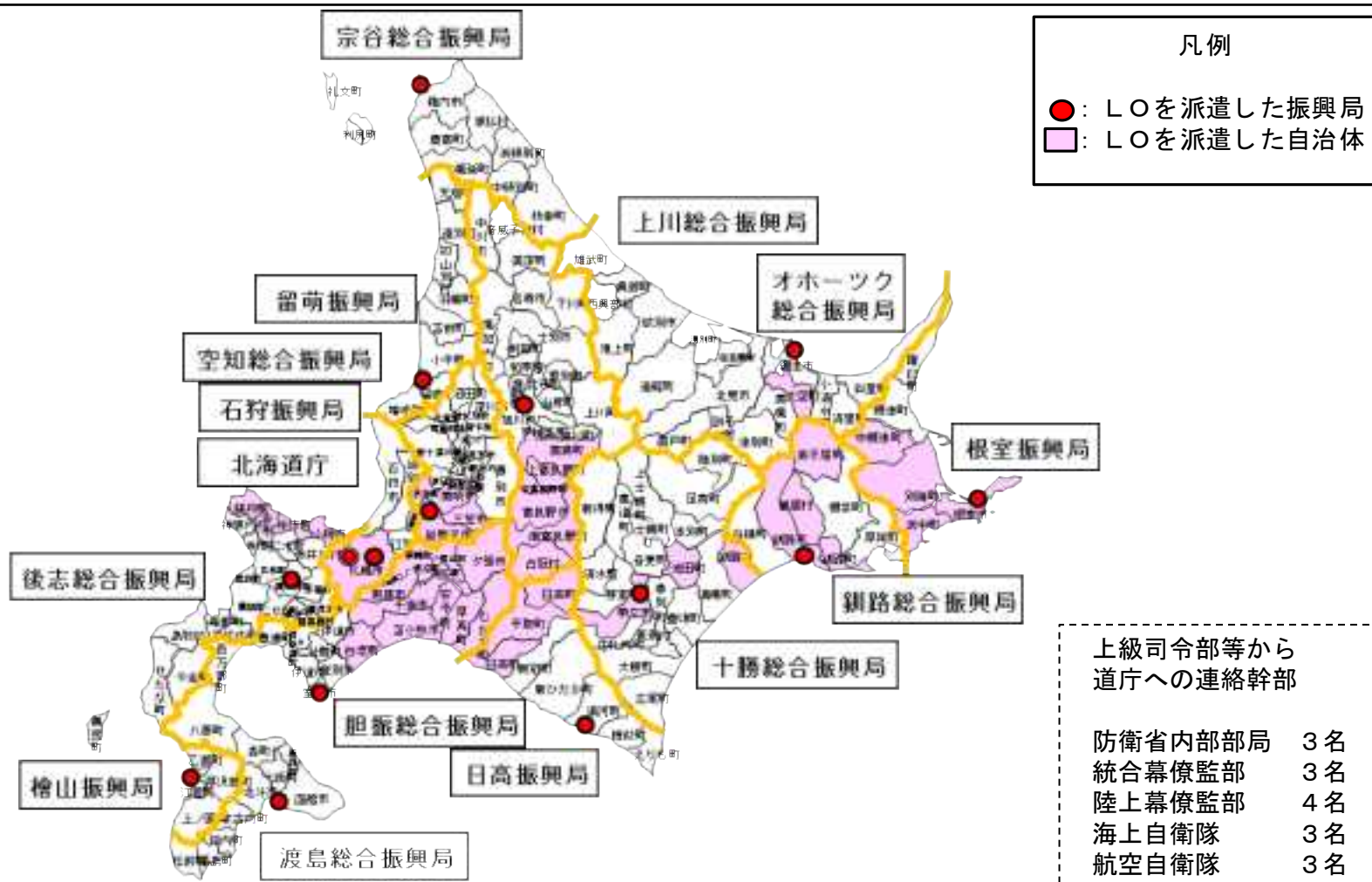
状況

発災約1h後（6日3時56分）からに道庁に連絡幹部4名を派遣し、さらに同日昼には幕僚副長（防衛担当）以下11名からなる方面連絡調整所を開設した。
また、被災した自治体等に計140名の連絡幹部を派遣し連携を図った。

成果

方面連絡調整所は迅速・的確な判断及び道庁での円滑な会議対応を実施
各自治体に派遣した連絡員は各部隊と振興局等との間において自治体のニーズに応じた円滑な調整を実施

連絡幹部派遣状況



防災監等として採用されている退職自衛官との連携

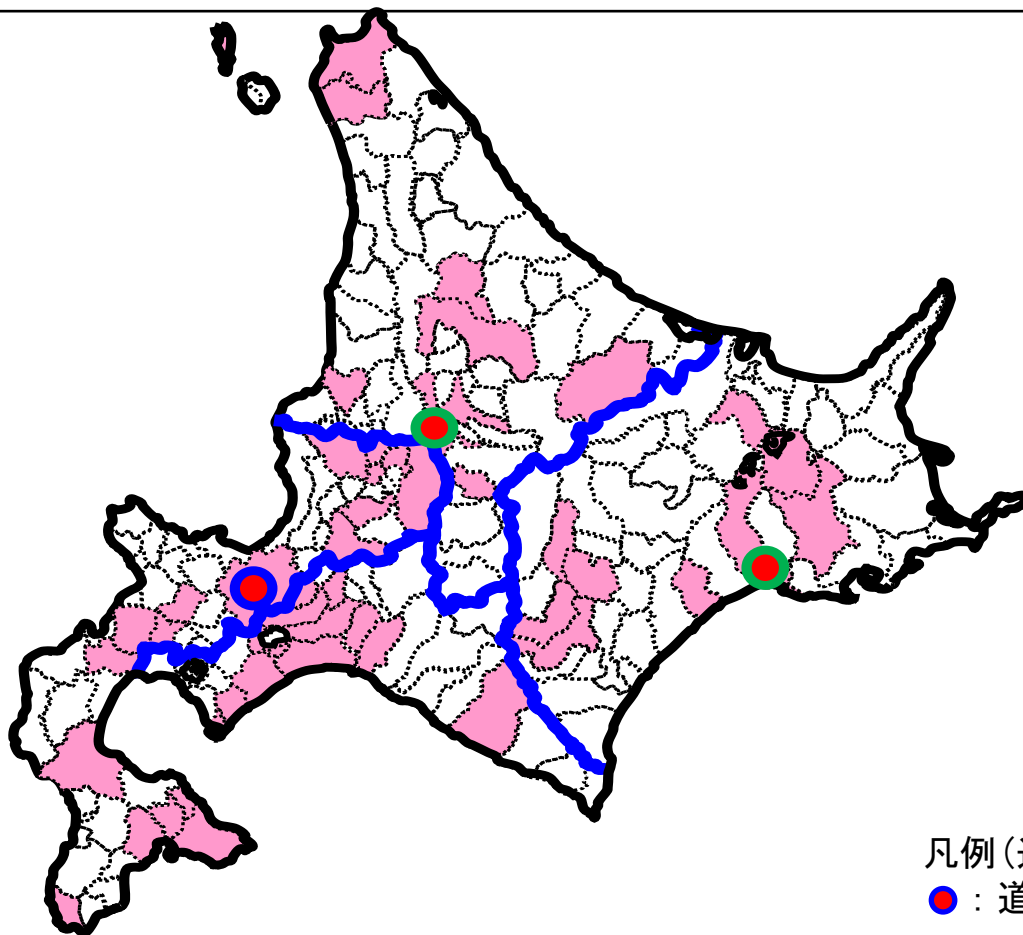
状況

派遣期間中、各自治体に防災監等（危機管理）業務従事者として採用されている退職自衛官と連携を実施

成果

自衛官在職中に培った専門的知識等を活かして、総監部と各自治体等との円滑な調整及び連携の強化に寄与

防災監等採用の退職自衛官配置状況



自治体等区分	人数
北海道庁	2名
上川振興局	1名
釧路総合振興局	1名
市町村	56名
勤務様態	
常勤	24名
非常勤	36名

凡例(退職自衛官の在籍する自治体等)

● : 道庁 ● : 振興局 □ : 市町村

総括

道内各地の気候、土壌、環境等特性を熟知した**災害対処の実務経験が豊富な道内勤務経験のある退職自衛官**を防災監等に配置することで北海道の**災害対処能力の向上に寄与**
 ⇒ 未採用の自治体、指定公共機関等への更なる採用を要望

大規模地震災害発生時の成果・教訓まとめ

共通認識		<ul style="list-style-type: none"> ・災害派遣における政府主導の対応の傾向が強まり、現地における「ニーズ対応型」「待ち受け型」の対応ではなく、「提案型」の活動を求められる傾向 ・特に初動対応においては、地方自治体からの要請や地方公共団体へのニーズの確認を待つことなく、「空振り覚悟」の迅速な初動活動を求められる傾向 ・「3要件」の意義は考慮しつつも、「3要件」を個々に厳密に捉えることなく、総合的に勘案して活動の是非を判断することが必要 			
段階		初動対応	即時救援活動	応急救援活動	応急復旧支援活動
実施事項	自衛隊	<ol style="list-style-type: none"> 1 非常勤務態勢の確立 2 LO・ファストフォース派遣 3 主力の派遣準備 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; background-color: #f4a460;">人命救助活動</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; background-color: #fff9c4;">医療活動</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; background-color: #fff9c4;">防疫支援</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; background-color: #fff9c4;">道路啓開・瓦礫の除去</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; background-color: #fff9c4;">停電対応(発電機・燃料)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; background-color: #fff9c4;">物資輸送(陸・海・空)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; background-color: #e0f7fa;">生活支援(給水・給食・入浴等)</div>		
	自治体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害派遣の要請 知事 → 総監 又は 振興局長 → 各師旅団長 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #4285f4; color: white; text-align: center; margin-bottom: 5px;">情報の収集・共有</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣活動ニーズ ・ 活動地域の選定 ・ 部隊の受入れ ・ 被災者の食と健康に関する安全のための相互協力 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; background-color: #fff9c4;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害派遣の撤収要請 </div>		

【教訓に基づく今後の自衛隊の活動内容】

大規模災害時の支援にあたっては、自治体の要請を待つて活動する「受身型」から、関係省庁の情報を集約して適切な支援を打診する「提案型」の運用に今後切り替え

災害派遣実績

道内全般

胆振東部地震、**行方不明者捜索**等計6件の**災害派遣**に対応
 (延人数約193,000人、延車両約17,700両、延航空機約170機)

幌尻岳 8月11日～12日



盤尻 9月26日～29日



旭岳 (調整会議) 2月16日～17日



旭岳 (山中) 2月16日～17日



防災訓練成果

全般

- 北海道防災訓練(10月11日、13日)人員:131名、車両:36両、航空機:1機、艦船:1隻が物資輸送、給食・入浴支援、交通路確保等の訓練を実施
- 原子力防災訓練(10月22日、31年2月4日)人員:130名、車両:21両、航空機:3機、艦船:1隻が参加、部隊LOとの連携要領等を確認し、計画の実効性を向上

北海道総合防災訓練



物資輸送(航空機)



物資輸送(艦艇)



機動支援橋



給食支援

北海道原子力防災訓練



住民避難(航空機)



住民避難(装甲車)



航空機モニタリング



システム回線設定

2019年度における防災訓練への取組み

全般

- 北海道総合防災訓練では2018年度の北海道胆振東部地震に対する**教訓を反映**した活動を実施。この際、**海、空自衛隊の人員・機材**も参加。
- 原子力防災訓練では**厳冬期の原子力災害**に対し自衛隊の**装備を駆使**し対応

北海道防災総合訓練(2019年春・秋)

春：5月25日(土)

交通路確保

避難所運営

物資輸送

※6月12日(水)本部運営訓練

秋：10月18日(金)
19日(土)

交通路確保

避難所運営

物資輸送

根室振興局
釧路総合振興局

北海道原子力防災訓練(2019年冬)

UPZ

PAZ

本部運営訓練

住民避難支援

避難退域時検査・除染

**最も強く
最も頼もしい
北部方面隊を目指して！**



「厚真町吉野地区（第7特科連隊）」